

えんがわ

第28号

2009年7月発行

発行元
衣笠病院グループ
横須賀市小矢部
2-23-1
TEL 046-852-1182

縁側のある家

天気の良い日は、縁側で日向ぼっこをしたい。社会人になってからは休みの日になると縁側に座っては、ぼうつと庭の景色や空を眺めて過ごすのが好きです。皆さんの家に縁側はありますか？最近、縁側のある家というのは、トンと見かけなくなりました。洋風住宅をつくる人が増えたことや敷地の都合からでしょうか。縁側は、家づくりでとても大きな役割をしてくれそうです。縁側をつくることで、夏は暑い日差しが直接和室に入るのを防いでくれ、逆に冬はサンルームのように暖かく快適な空間ができるのです。

私は小学校入学と同時に横須賀に引っ越して来ました。祖母と両親の部屋それぞれに縁側がある家に住むことになり、小学生の頃はよく、祖母と縁側で日向ぼっこをしながら庭を眺め、笑いながら話して過ごした思い出があります。部屋と部屋、内と外、庭と部屋、人と人、人と自然をつなぐものとして、縁側の風景がこれからも残ってほしいものです。

湘南国際村クリニック
事務 内野 幸枝



ひえんとくがちや在宅モ電

ご存知ですか？

地域包括支援センター

人が歳を重ねていくと。誰もがいつか行く道では、誰もが誰かの支えを、多かれ少なかれ必要とするのではないのでしょうか？

地域包括支援センターは、横須賀市から委託を受け、高齢の方の生活や介護に関わる公的な相談窓口です。現在、市内に13箇所あり、それぞれの担当地区で活動しています。

主な活動は、ご本人やご家族又は、地域の方から介護の相談を受けたり、周囲からすると少し心配な高齢者の方へ訪問をしたり、町内会館などで教室を開き、介護予防や認知症理解への普及啓発活動などを行なったりしています。

地域に住まう方たちが、いつまでも元気で、たとえ介護が必要になったとしても住み慣れた地域で生活が続けられるように・・・民生委員の方、町内会の方、医療・介護の専門職の人たち・・・様々な人たちがつながり、支えあう体制づくりを目指しています。どうぞお気軽にお声かけ下さい。

浦賀・久里浜第二

地域包括支援センター

佐藤 明子



本格的な夏の到来です！夏は楽しいイベントがたくさんありますね。夏野菜も良いですね。身体を冷やしてしまったり、脱水にならない様に気をつけながら、暑い夏を上手に乗り越えましょう。

